

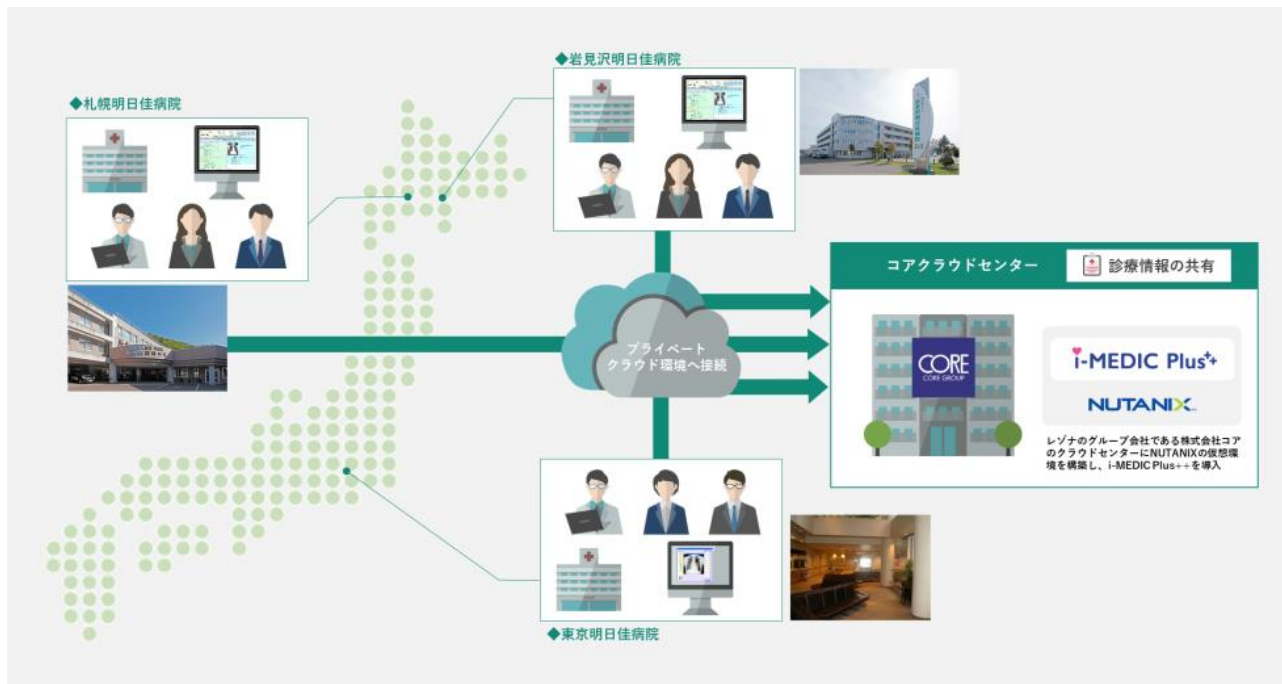
2019年4月16日
株式会社 コア

国内初！クラウド型電子カルテ『i-MEDIC Plus++』を Nutanix Enterprise Cloud OS 上で提供開始

～ わずか4ヵ月という短期間で電子カルテシステムの導入を実現 ～

株式会社コア（本社：東京都世田谷区、代表取締役 社長執行役員 松浪 正信、以下コア）は、当社グループの株式会社レゾナ（本社：群馬県伊勢崎市、代表取締役社長 大川 政利、以下レゾナ）と、コアネットインタナショナル株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長 新 幸彦、以下コアネットインタナショナル）が、医療法人や社会福祉法人を数多く傘下に持つ明日佳グループ（住所：北海道札幌市、代表：小野寺 眞悟）で導入のクラウド型電子カルテ『i-MEDIC Plus++』について、日本で初めてNutanixのクラウド基盤Nutanix Enterprise Cloud OS上で提供を開始することを発表いたします。

DPC（診断群分類包括評価）データ提出に対応し、将来を見据え拡張性の高いインフラ基盤を構築するため、Nutanix Enterprise Cloud OSにより、4ヶ月という短期間で電子カルテシステムの導入を実現しました。



ニュータニクス・ジャパン合同会社のコーポレートバイスプレジデント 兼 社長 町田 栄作氏は、次のように述べています。「この度、電子カルテの基盤にNutanix Enterprise Cloud OSを採用いただき、4ヶ月という短期導入を実現できたことを大変嬉しく思っております。Nutanix Enterprise Cloud OSは、インフラに依存しない拡張性の高いアーキテクチャで、お客様の条件に基づいて、環境を選択できる自由をご提供します。今後コアグループ様がソリューション提供を通じて、医療業界のデジタル化の推進にますます貢献されることを期待します。」

導入経緯

2年に一度、大規模な法改正が実施される医療業界において、2018年度の診療報酬改定では、200床を超える慢性期病院でのDPC（診断群分類包括評価）データ提出が義務化されました。療養型の慢性期病院を複数運用している明日佳グループは、データ提出が可能な環境を整えるため、電子カルテシステムの導入を検討することになったと札幌明日佳病院 事務次長 新田 晃久氏は当時を振り返ります。しかし、同グループには専任のシステム管理者が不在だったこともあり、電子カルテの運用管理を外部に委託することを前提に検討し、「特別養護老人ホームの新設を含め、事業拡張を積極的に行っていくグループの方針に対応できるよう、インフラ面では、閉域網にてデータセンター内にプライベートクラウド環境を整備してセキュリティを確保しつつ、アプリケーション面では、高い拡張性を持ったクラウド型の電子カルテシステムの実現を目指しました」と岩見沢明日佳病院 事務部長 朝倉 茂之氏は述べています。

そこで同グループは、レゾナのクラウド型電子カルテ『i-MEDIC Plus++』を選択し、その基盤としてNutanix Enterprise Cloud OS、インフラ構築とデータセンターとしての役割をコアクラウドセンターに決めました。「今後ますます重要視される地域医療連携の観点から、『i-MEDIC Plus++』は地域連携を初期設計の段階から複数施設運用を考慮して設計されており、施設間システムリンクによる業務互換を実現し、シームレスに簡素化できることは特に魅力的でした」と朝倉氏は語ります。

導入効果

「当初はクラウドと聞いて、セキュリティ面とスピード面が気になりました。しかしながら、コアネットインタナショナルが運営するコアクラウドセンターのプライベートクラウド環境へ各拠点から閉域網で接続することで、セキュリティを確保したシステム環境を確保することができました。スピード面に関しても、今まで体験できなかったほどのシステム動作の速度を実現できています。」と札幌明日佳病院 事務次長 新田氏は語ります。

わずか4か月という短期間で導入が可能だったのは、『i-MEDIC Plus++』の操作性、コアネットインタナショナルの基盤構築のスピード、Nutanix Enterprise Cloud OSの性能だと新田氏は評価します。

電子カルテを利用する医師や看護師からもパフォーマンスの良さが評価されています。「現場は全くクラウドを意識することなく利用できています。また、電子カルテを導入することによって、患者さんに集中できる時間を今まで以上に確保できており、他部門を意識しながら、専門性の高い医療行為をご提供できるということ、そして、各医療従事者がその日1日のスケジュールを簡単に把握できるということに大変役立っています」と新田氏は語ります。

今後の提案

コアグループは注力事業の5大柱として「医療、メディア、公共、IoT(AI)、GNSS」をあげており、そのうちのひとつとして日本の医療業界への貢献を目指しています。今後ますます医療機関のIT化の重要性が増していく中で、お客様の声を元にレゾナはi-MEDICシリーズの成長と発展を目指します。また、それらを支えるインフラ分野として、コアネットインタナショナルはNutanixの新技术を積極的に取り入れ、より良い基盤作りに取り組んでいきます。

News Release



NUTANIX™

Nutanixはクラウドソフトウェアとハイパーコンバージドインフラストラクチャー・ソリューションのグローバルリーダーであり、Nutanix Enterprise Cloud OS ソフトウェアは世界中の企業に採用されており、パブリッククラウド、プライベートクラウド、分散型エッジクラウドを対象に、ワンクリックのアプリケーション管理とモビリティを実現することで、総所有コストを大幅に削減しつつ、あらゆる規模でアプリケーションの実行を可能にします。その結果、高性能の IT 環境をオンデマンドで迅速に実現でき、アプリケーション所有者には真のクラウドライクな体験が得られます。

<https://www.nutanix.jp/>

CNI CORENET INTERNATIONAL CORPORATION

2013年に新データセンター「コアクラウドセンター」を竣工しました。私たちはデータセンターを中心とし、クラウドサービスをはじめ、お客様の課題を解決するソリューションサービスや業務ノウハウ・特化技術を活かしたシステムインテグレーションを展開し、ワンストップサービスを提供しています。

<http://www.corenet.ne.jp/index.php>



取締役 渡邊 昌智



構築担当者 高橋 立彦

明日佳グループ

明日佳グループは2000年に札幌江仁会病院の運営からスタートし、医療療養病棟や介護老人保健施設などを手掛ける医療介護事業をはじめ、脳神経外科を中心とする急性期の医療事業や人間ドック、職場健診などを中心とする健康診断事業、専門外来・一般病棟などの地域の医療事業など、さまざまな事業を展開しています。「人に優しく」をグループの基本理念に据え、施設利用者やその家族に「優しい」医療・介護・サービスを提供しています。

<http://www.asuka-gp.or.jp/>



事務部長 朝倉 茂之氏



事務部長 新田 晃久氏

resona

1988年の創業より医療・介護に特化し現場での運用を踏まえたパッケージづくりによる電子カルテシステム・介護支援システムの開発、販売、構築からサポートまで行い、医療・介護分野のICT化に貢献しております。

<https://www.resona.co.jp/>



代表取締役社長 大川 政利



取締役 松岡 智



1969年創業の東証一部上場企業。近年は、マーケットアウト指向のS Iサービス、セキュリティ・ソリューションをはじめとするソリューションサービスとともに、組込みソフトウェアの技術や応用ノウハウを結実させた関連製品や2005年から事業を開始しているGNSS関連製品、次世代に向けたソリューション提供に注力しております。

<https://www.core.co.jp/coresway/medical/index.html>



取締役専務執行役員 新 幸彦



ソリューションビジネス本部
事業戦略推進部長 金城 広

■ 投資家の皆様へ

本プレスリリースは、当社の定性的な業務進捗をお知らせするためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の業績・経営指標の進捗・予想に関しては、取引所開示情報である決算短信等をご参照ください。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

■ 本製品に関するお問い合わせ先

株式会社レゾナ

営業部

TEL:0270-30-1278

<https://www.resona.co.jp/company/inquiry.htm>

コアネットインタナショナル株式会社

営業部

TEL:044-988-7711

E-Mail: cni-info@corenet.ne.jp

■ 報道関係のお問い合わせ先

株式会社コア

経営管理室 経営管理担当

TEL:03-3795-5111

E-Mail: coo-office@core.co.jp